



みなみかぜ

瀬田南幼稚園だより

令和6年3月15日
天津市立瀬田南幼稚園
園長 平木 秀樹

ご修了、おめでとうございます！

修了式では、子ども達にこれから大切にしてほしい3つのことをお話ししました。限られた時間中、子どもたちに理解できるようにお話ししましたので、少し言葉足らずの面があったかと思いますが、ここではお話を通して伝えなかった思いを保護者の方に改めてお伝えします。

次の3つは、瀬田南幼稚園で大切にしてきた『育てたい4つの心と力』の内の“意欲”“思いやり”“自尊感情”に基づいています。これらは、そら組の子ども達がちょうど入園してきた令和3年度から瀬田南幼稚園の保育の柱に位置付けました。ですから、これらの言葉を一番たくさん聞いてくれたのが、今のそら組の子ども達ということになりますね。

1. あきらめないで、やってみよう

幼稚園で子どもたちは、初めてのことや難しいことに挑戦し、ひたむきに取り組む姿をたくさん見せてくれました。決してうまくいくことばかりではありませんでしたが、挑戦しようとする前向きな気持ちは、子どもたちの中にしっかりと育ってきていると感じています。

入学してからも、子どもたちは様々なことに会っていきましょう。そんな時、尻込みしてしまうのではなく、まずはやってみることで、そして、多少の困難は乗り越えようとする姿勢を持ち続けてほしいと思います。

どうか、保護者の皆様もお子さんの可能性を信じ、しかし、過度な期待を押し付けることなく、その子らしさを大切にしながら支えていってあげてほしいと思います。



2. 友だちと一緒にやってみよう

入園当初は自分のことで精一杯の子ども達でしたが、集団生活を通して、友達と遊びを共有する楽しさ、共感し合う嬉しさを味わうことで、「友達と一緒にいたい」「一緒に遊びたい」という気持ちが強くなってきました。そして、年長になって、同じ目的に向かっていろいろな活動に取り組み、互いの力を生かしあう経験を重ねてきました。はじめは、「同じ物を持って運ぶ」というまさに「力（筋力）を合わせる」ことから始まりましたが、徐々に「気持ちを合わせる」そして、相談をするなどの「考えを合わせる」という姿へと成長していきました。



「力を合わせる」とは、人任せにするということではなく、一人ひとりが責任を持って自分の力を生かすということです。また、一人ひとり、得意なことも持ち味も違いますが、そのことを承知した上で、自分を生かし、友達のことでも生かそうとすることであり、それは、認め合うということでもあります。

これからもまずは友達と一緒に、そして、力を合わせ、認め合い、助け合える小学生になっていってほしいことを願っています。

3. 自分は大切

これから子ども達が長い人生を歩んでいく中で、辛いことに会った時、気持ちを根幹から支えてくれるのは『自尊感情』です。「自分は大切に育てられてきた。自分は自分のままで大丈夫」ということを信じ、その気持ちを抱き続けられるようになってほしいと思います。自尊感情が育まれている子どもは、多少の困難にも前向きに取り組み、必要な時には周りの人に助けを求めることができると言われています。

ぜひ、ご家庭では親子の触れ合いや語り合いなどの『共有体験』を大切にしてください。（毎日の絵本の読み聞かせなどが有効だと言われています。）また、様々な人に思いをかけてもらっていることを知らせ、感謝の気持ちが抱けるようにしてあげてください。その経験は大人になっても、子ども達の心の中に“安心”と“人への信頼”という温かい火を灯し続けてくれることでしょう。



3年間、行き届かないことも多々あったことと思いますが、温かいまなざしと共に、ご理解とご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。お子さんはもちろんのこと、ご家族皆様が健康で充実した毎日を過ごされますことを願っております。